

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達サポートるっか		
○保護者評価実施期間	令和6年11月5日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医師が在住しているため、重度の障害を持つお子様方や医療ケアが必要なお子様方も安心して利用できる体制が整っています。	やまびこ医療福祉センターの医師による定期的な回診により、お子様方の体調管理に努めています。また、成長に応じた適切なケアを行えるよう保護者、かかりつけ医、嘱託医と細やかな情報共有を行い、お子様方の健やかな成長を促し、安全に過ごせる体制づくりに努めています。	今後も医師や保護者、関係機関と細やかな情報共有、連携を図りながら、お子様方の体調管理に努めていきます。また、定期的な緊急時体制の見直し・整備、CPR訓練の実施に努めお子様方・保護者様が安心して利用できる事業所となるよう努めていきます。
2	児童指導員、保育士、看護師、理学療法士といった障害福祉サービス事業の経験5年以上の経験豊富な職員が常勤で療育やお子様方の成長や特性に応じた日々のケアを行っています。	各専門職の経験を活かし、様々な視点からお子様方の成長・発達を促していけるよう支援を行っています。	より専門性を活かしたプログラムを実施していけるように、職員会議の充実や研修等を交えて専門性をさらに高め、支援の質の向上に繋げていけるよう努めていきます。
3	お子様の年齢・特性に応じた個性のある支援の提供を行っています。また、お子様方の気持ちを大切に、一人一人に寄り添った支援の提供を行っています。	保護者様や関係機関と連携を図り、細やかな情報収集に努め、お子様方の成長に応じた支援・ケアの提供に努めています。また一つ一つのケアに細やかな声かけや視覚的アプローチを行うと共にお子様からの返答があるまで"待つ"支援を行い、お子様方の自尊心や自主性を大切に支援の提供に努めています。	今後もお子様方からの様々なサインをくみ取り、気持ちに寄り添った支援・ケアの提供を行い、お子様方にとって安心して楽しめる事業所となるよう努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の移転により、以前と比べ立地や交通の便がやや不便となりました。	事業所が市街地から郊外に移転したことで移転前から利用されているお子様・保護者様から自宅や職場から遠くなってしまった、通いにくくなったという声も聞かれています。	自宅～事業所間の送迎を実施し、保護者の送迎負担の軽減を図る必要があると考えます。
2	北側に事業所が配置されているため、移転前と比べ活動室内の照明が暗い、冬場の室温調整など活動室の環境設定に努める必要があります。	移転後、お子様方視点での環境設定や冬場の寒さ対策等、環境面への配慮・工夫が不十分でした。	今後は間接照明を取り入れると共に室温・湿度管理を徹底し、活動室内を明るく、お子様たちにとって快適な空間となるよう努めていきます。
3	保護者同士で交流する機会やきょうだい同士で交流する機会の提供が不足していました。	卒園式後に茶話会を開催し、保護者様の集まる場を設けましたが、全員参加することは難しく、また、感染防止のため短時間開催としたため家族同士の交流を図る場の提供としては不十分であったと考えます。	感染症などに留意しながら、令和7年度より茶話会等を開催していきたいと考えています。